

Information



各 位

「植木組と新潟大学の共同研究契約の締結」について

株式会社植木組（新潟県柏崎市）と国立大学法人新潟大学（新潟市西区）はこの度、「共同研究契約」を締結し、当社代表取締役社長日下部久夫と新潟大学学長牛木辰男様との意見交換会を開催いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 共同研究契約締結後、意見交換会を開催（2024年10月8日）



株式会社植木組 代表取締役社長 日下部久夫 コメント

当社がこれまで連携を深めてきた新潟大学との、初めての共同研究をようやくスタートすることができた。

人材不足が続く建設業界では、働き方改革に向けて新技術の研究開発と導入を、積極的に実施しなければならない。地域の守り手として社会に貢献し続ける為にも、両者の持つリソースを活かして一日も早い実用化を目指してまいりたい。

国立大学法人新潟大学 学長 牛木辰男様 コメント

植木組との共同研究契約を締結することができて、大変うれしく思う。新潟県内では、今後インフラの老朽化が進むため、施設の維持やメンテナンスに関する研究を深める時期に来ており、今回の共同研究は魅力的な取り組みと考えている。この契約を契機として、幅広い分野でのコンソーシアム体制の構築など、なお一層植木組との連携を深め、地域社会に貢献したい。

2. 共同研究の目的

建設会社と大学の共同研究の促進により、新しい技術と価値の創造を進め、新潟県から日本全国に向けた、地域における社会インフラの課題解決に貢献する技術の研究開発を目的としています。

3. 契約締結の経緯

当社は、建設業の担うインフラ整備、維持管理における生産性向上および省人化には産学連携による研究開発が有効であると考え、従前より、新潟大学産学連携協力会を通じて、多種多様な分野で新潟大学よりご協力いただいております。この度社会連携推進機構よりご提案頂いたテーマに基き、検討を重ねた結果、共同で研究を開始することといたしました。

4. 具体的な研究内容

以下の共同研究を開始いたしました。

共同研究内容	予定開発期間	新潟大学 研究責任者	植木組 研究責任者
除草・雑草の回収に関するシステム (除草及び回収作業には多くの労力を必要とする課題に対し、機械工学を活用した除草と回収を一連で行うシステム開発)	2024年9月 ～2027年8月	工学部 渡邊智洋助教	執行役員 技術開発部長 星野和利
ガードレールに関する維持管理システム (ガードレールの汚れ清掃には、多くの人による作業を必要とする課題に対して、自動制御機能を持つロボット化により、清掃と塗装を一連で行うシステム開発)	2024年9月 ～2027年8月	工学部 渡邊智洋助教	執行役員 技術開発部長 星野和利

5. 今後の展開

共同研究を進め、早ければ今年度中に他分野の多くの企業等とも連携して研究・開発に取り組む「コンソーシアム体制」を構築する予定です。

今後も、地域社会の課題解決に向けて、産学連携による新たな研究開発に取り組んでまいります。

お問い合わせ先：経営企画室（力石）Tel 0257-21-3986
技術開発部（広川）Tel 0258-37-3306